

平成27年度女性医師支援事業連絡協議会

宮崎県における女性医師支援 ～保育支援サービスモデル事業を中心に～

平成28年2月26日

宮崎県医師会 常任理事

荒木 早苗

平成27年度宮崎県医師会での主な女性医師支援関連活動

■ 女性医師相談窓口

- 平成21年10月1日開始
- 女性医師コーディネータが、電話・面談・メール等で対応

■ 研修会時無料託児サービス

- 平成21年～ 宮崎県医師会館内に託児ルーム設置
- 保育士が対応(NPOみやぎ子ども文化センターより派遣)

■ 地域医療現場における働きやすい環境を考える会

- 平成22年～
- 構成メンバー:宮崎大学・宮崎県・宮崎県医師会

■ ワークライフバランスセミナー

■ 医学生向けセミナー

■ 女性医師情報交換会

■ 宮崎県医師会女性医師保育支援サービスモデル事業(新規)

ワークライフバランスセミナー

医療現場の

ワークライフ バランスセミナー

医療現場において、男女を問わない働きやすい環境整備の必要性や実現に向け考える機会とすることを目的としたセミナーです。女性医師だけでなく、同僚や上司となる男性医師、病院の制度等を考える事務長様・男女共同参画担当者様等もお誘い合わせの上、ぜひご聴講ください。

日時 平成27年 **7月2日(木)**
19:00~20:30

会場 宮崎県医師会館 (宮崎市和知川原1丁目101)

司会 宮崎県医師会常任理事 荒木 早苗 **座長** 宮崎県医師会常任理事 金丸 吉昌

演題 「医師の働き方と女性の支援」

産業医

基礎後期 1.5単位
生涯専門 1.5単位

生涯教育

1.5単位 CC1、2、10



野原 理子 先生

東京女子医科大学医学部 講師 **野原 理子** 先生

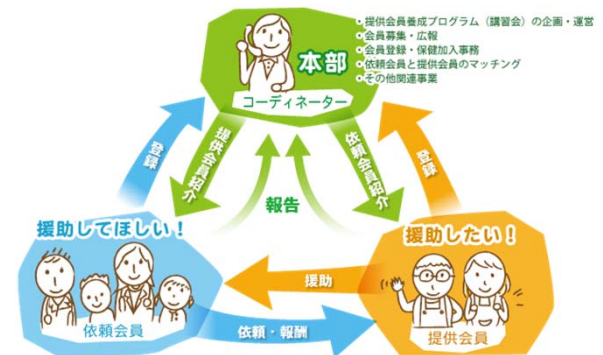
<講演要旨>
現在、病院勤務医の過重労働が深刻化し、抜本的な勤務環境の見直しが望まれています。しかし、医師の業務は専門的で複雑であり、正確な業務内容の評価を行い有効な業務改善を行うことは困難でした。そこで、産業保健を専門とする産業医らによって、病院勤務医の実地調査(タイムスタディ)を行いました。
本セミナーではその調査結果と、結果を基にした「医師の業務バランスアクションチェックリスト」をご紹介します。医師自身による勤務環境改善についてお話しします。さらに、現状の男性中心の厳しい職場で働く女性の支援についてもお話しできればと思っています。

○タイムスタディと業務バランス改善策



○東京女子医大の女性医師・研修者支援

東京女子医科大学 派遣型家事育児援助システム 女子医大ファミリーサポート



<http://www.twmu.ac.jp/w-support/family-support/>

医学生向けセミナー

先輩ドクターと話そう！

医師を目指すあなたのためのトワイライトカフェ

あなたはどんな医師になりたいと思っていますか？

まだまだ勉強中だから考えたこともない、というあなた。
どのようにイメージすればよいかわからない、というあなた。

附属病院で働いている医師と話せるカフェをオープンします。

気軽に。じっくり。

普段着の先輩と一緒に、
少しだけ未来の自分の姿を想像してみませんか？

日時 | 2015年 9月 9日 (水) 17:00 ~ 18:30

場所 | 附属病院内 ドトールコーヒーショップ

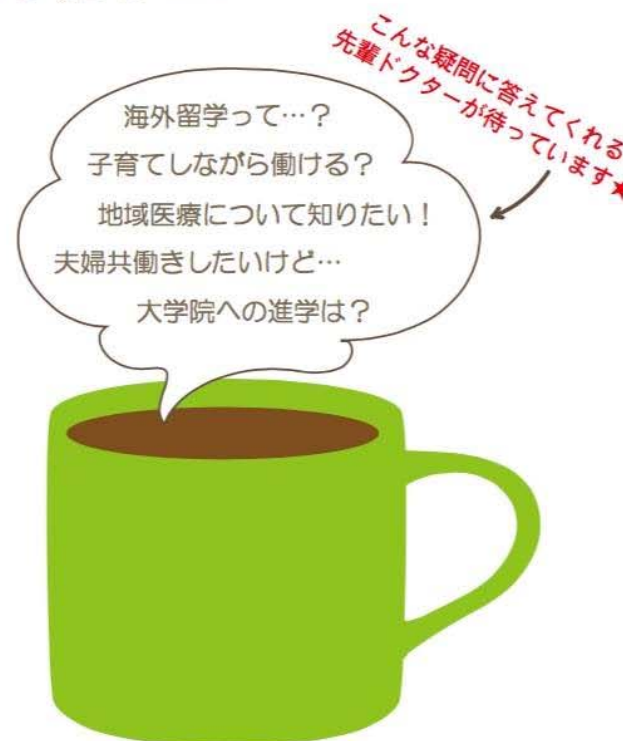
対象 | 医学科に所属する学生の皆さん

先着 20名 / 軽食あり / 16:45 受付開始

主催：宮崎県医師会

共催：日本医師会（医学生・研修医等をサポートするための会）、
地域医療現場における働きやすい環境を考える会

問い合わせ：宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室（0985・85・1252）



参加申し込みはこちらからどうぞ
<http://u111u.info/mif4>



医学生向けセミナー

先輩ドクターと話そう！

医師を目指すあなたのためのトワイライトカフェ



地域医療 総合診療医



研究者



海外留学経験者



子育て中女性医師



共働き医師

女性医師情報交換会

県北女性医師の会(カトレア会)への参加

平成27年5月21日



参加・報告 : 系数智美 理事

○県北女性医師の会「カトレア会」へ参戦した！

○「来てください」ではなく、「こちらから出向きます！」

○地域の団結力、仲の良さに感動！！

○研修医からご高齢のベテラン医師まで広い年齢層と
多科にわたるメンバーでの情報交換は、貴重

○「顔の見える」関係づくりの大切さを痛感



今後も積極的に地域や医療機関に出向き、情報交換をする予定

宮大病院キャリア支援枠

- 育児や介護など様々な理由から離職・休職している医師が緩やかに職場復帰できる場を提供することを目指す制度
- 時間外勤務や当直勤務が免除されるとともに、本人の希望に応じた柔軟な形態で非常勤医員として勤務
- 性別を問わず利用可能

子育てや介護のため、フルタイムで働くことが難しい

しばらく現場を離れていたけれどそろそろ復帰したい

これからのためにもっと自分のスキルを高めたい

初めての宮崎…医師として働くきっかけをつかみたい

- 宮崎大学病院以外の人でも利用可能
 - 宮崎県医師会の会報やメーリングリストでも案内
- 平成28年2月現在、女性6名が利用、現在も4名が利用中



宮大病院キャリア支援枠利用者実績一覧

(平成28年2月現在)

No.	性別	制度利用理由	診療科	利用期間	勤務時間 (週当たり)	平均勤務時間 (1日当たり)	利用後の状況
1	女性	妊娠・育児	内科	利用終了	10時間	5時間	妊娠中に宮崎大学外からの利用。 退職後、大手製薬会社にメディカルマネージャーとして採用。
2	女性	育児	皮膚科	利用終了	30時間	6時間	助教職を得ることにより、利用期間を終了。 H27年度の専門医試験に合格。
3	女性	妊娠・育児	内科	利用中	15時間	6時間	妊娠中に利用開始。 産休育休を取得後、復帰。
4	女性	育児	内科	利用中	12時間	4時間	利用開始後に専門医試験に合格。 診療科では他の女性医師の相談役的立場。
5	女性	育児	泌尿器科	利用中	28時間	7時間	目標に向け支援枠の利用継続はある程度の期間と考えている。
6	女性	育児	精神科	利用中	14時間	7時間	大学院への進学も視野にいれ、長期的なキャリア形成を目指している。

平成27年度宮崎県医師会女性医師保育支援サービスモデル事業

(新規)

急な残業や出張、お子様の病気時(病気回復期)などで仕事を休めない場合に、保育サポーターの自宅または女性医師の自宅等において、お子様の一時的な預かりを行うサービス

既存の子育てサポートについての女性医師の声

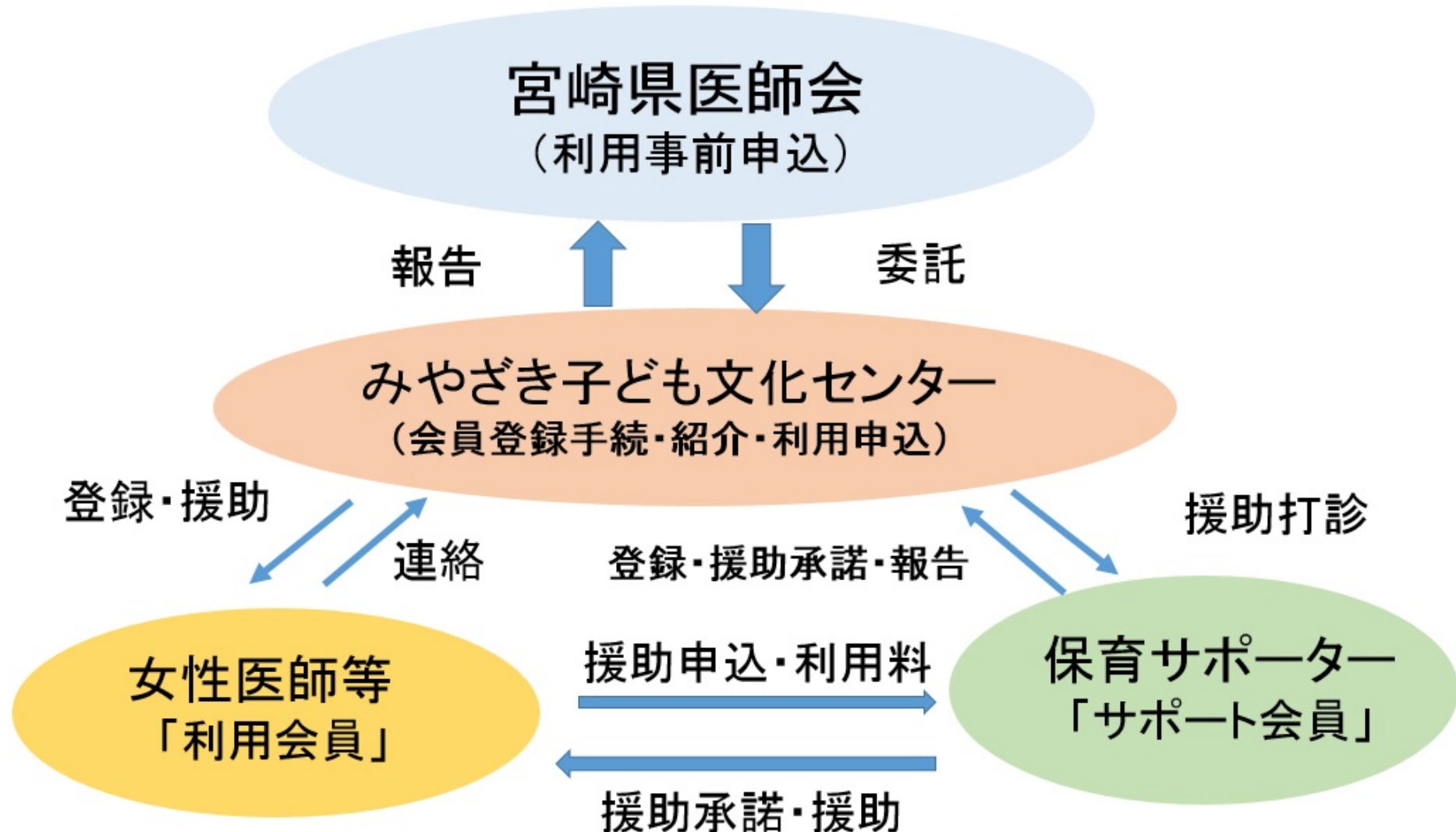
- どんな方に預けるのか不安で、申し込みをためらっていた。
- 登録しているが、利用したいときに担当のサポーターさんの都合が悪く、必要な時に利用できないことがあった。
- 病後児を預ける際には医療機関の受診が必須で、利用しづらかった。
- 当直や学会出張時に宿泊で預けられない。



女性医師が利用しやすい医師会版保育サポートシステムの構築

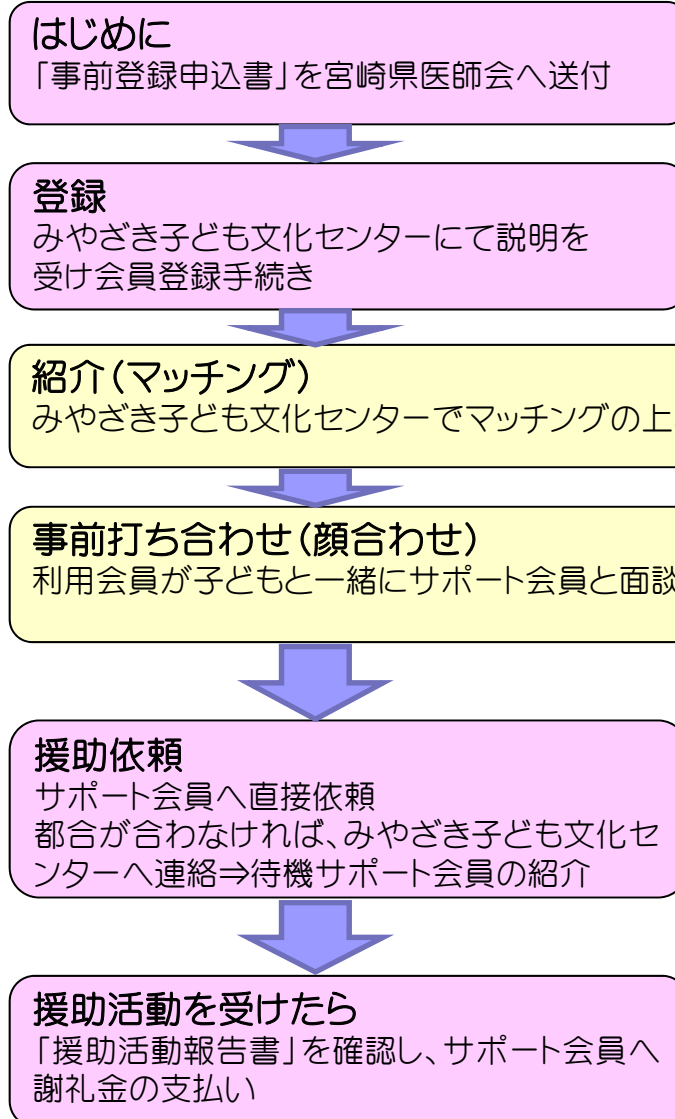
- 医師会がサポーターを養成
 - 女性医師が安心して利用できる
 - 女性医師や地域医療への理解を得る
- 利用したいときに、必ず利用できるシステムの構築
- 病後児を預ける時の条件の緩和
- 宿泊のお預かりも実施 など

女性医師保育支援サービスモデル事業の基本的な仕組み

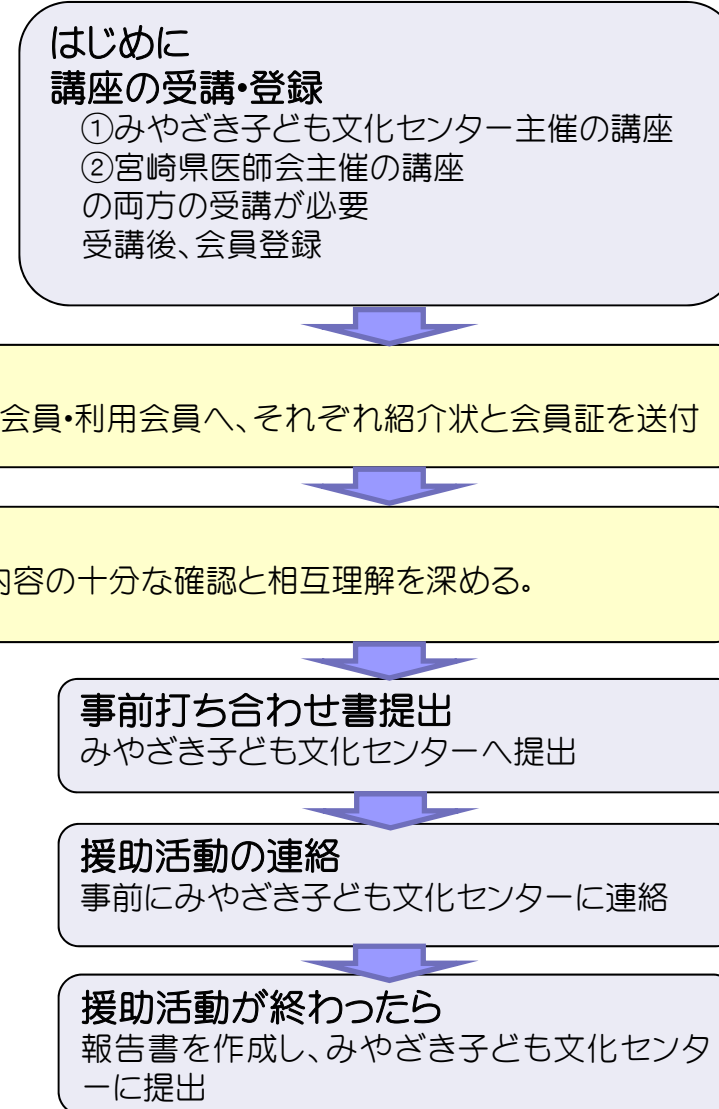


登録から利用までの流れ

利用会員(女性医師等)



サポート会員



登録から利用までの流れ

利用会員(女性医師等)

はじめに
「事前登録申込書」を宮崎県医師会へ送付

登録
みやざき子ども文化センターにて説明を受け会員登録手続き

紹介(マッチング)
みやざき子ども文化センターでマッチングの上、サポート会員・利用会員へ、それぞれ紹介状と会員証を送付

事前打ち合わせ(顔合わせ)
利用会員が子どもと一緒にサポート会員と面談し、援助内容の十分な確認と相互理解を深める。

援助依頼
サポート会員へ直接依頼
都合が合わなければ、みやざき子ども文化センターへ連絡⇒待機サポート会員の紹介

援助活動を受けたら
「援助活動報告書」を確認し、サポート会員へ謝礼金の支払い

サポート会員

はじめに
講座の受講・登録
①みやざき子ども文化センター主催の講座
②宮崎県医師会主催の講座
の両方の受講が必要
受講後、会員登録

事前打ち合わせ書提出
みやざき子ども文化センターへ提出

援助活動の連絡
事前にみやざき子ども文化センターに連絡

援助活動が終わったら
報告書を作成し、みやざき子ども文化センターへ提出

・ ・
病後児お預かり
宿泊のお預かり

サポート会員のインフルエンザ予防接種補助

平成27年度サポート会員養成講座(みやざき子育てサポート事業)

- 宮崎県からNPO法人みやざき子ども文化センターが委託を受けて実施
- 対象: 自宅等でお子さんを預かることができる方で、サポート会員として活動を希望される方

日時	内容	講師
9月30日(水) 9:00~16:30	みやざき子育てサポート事業概要説明	NPO法人みやざき子ども文化センター
	子どもの事故防止と安全について	宮崎県立看護大学 名誉教授 花野 典子 氏
	子どもの理解と保育の視点	おひさま保育園 園長 横山 槇子 氏
	乳幼児安全法	日本赤十字社宮崎県支部
10月1日(木) 9:00~16:30	児童虐待防止及び対応について	NPO法人子ども虐待防止みやざきの会 代表 甲斐 英幸 氏
	子どもの遊びとおもちゃ作り	保育士 工藤 純代 氏
	子どもの病気について	どんぐりこども診療所 院長 糸数 智美 氏
10月5・6・7・8日 いずれか1日	保育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高千穂乳児保育園 ・ おひさま保育園

サポート会員養成講座 (NPO法人みやざき子ども文化センター主催)



これまでの養成講座受講者の中から
みやざき子どもセンターが推薦する会員で
女性医師支援に関心のある方を対象に
医師会主催の養成講座を案内

平成27年度宮崎県医師会女性医師保育支援サービスモデル事業 サポート会員養成講座(主催:宮崎県医師会)

平成27年度 宮崎県医師会女性医師サポートモデル事業
サポーター養成講座

子どもの病気とケガへの対応

《本日のお話》

- 1) いろいろな症状について
- 2) 感染予防に努めよう
- 3) 子どもの事故防止と対応



女性医師保育支援講座「女性医師の現状と地域医療」
今日のおはなし

- 医師数
- 日本の医療・宮崎の医療
- 医師の仕事
- 女性医師の現状
- 女性医師への支援
- 地域医療を守るために



- ◆ 少人数の受講者で4回開催
- ◆ 講義後に意見交換・交流
 - サポーター応募のきっかけ
 - 提供可能な援助内容の確認
 - 不安に思うこと、質疑応答 など
 - 講座の感想アンケート

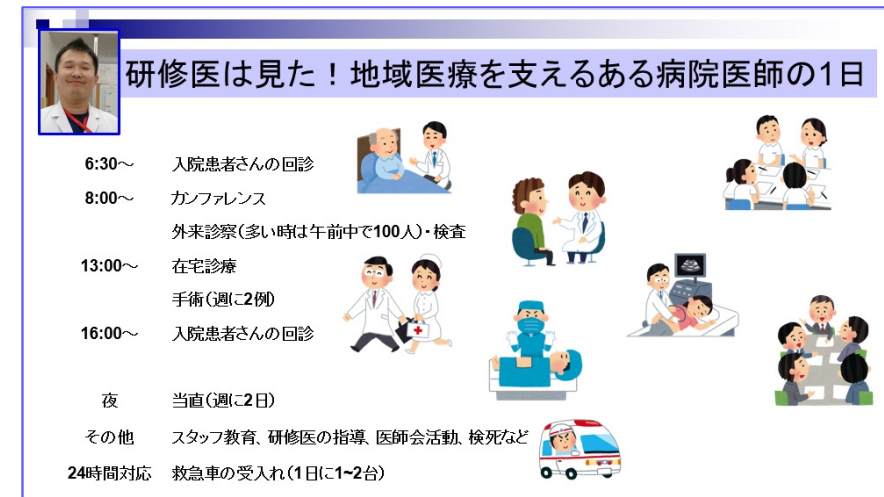
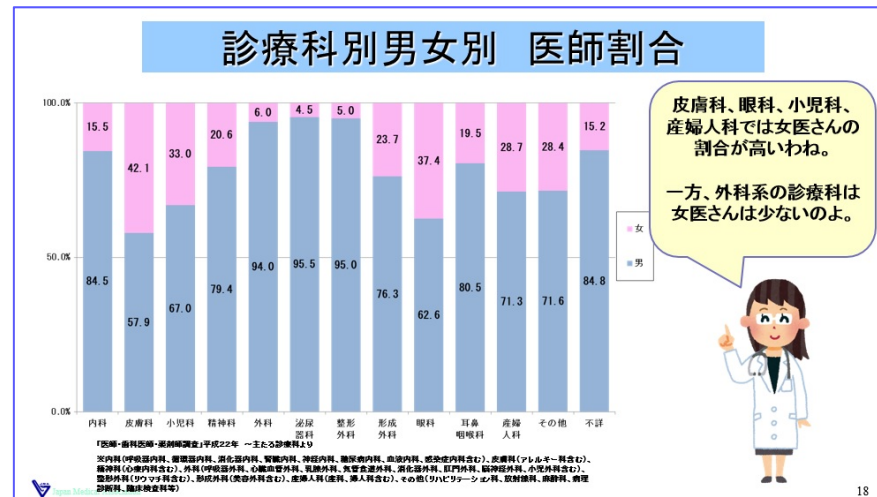
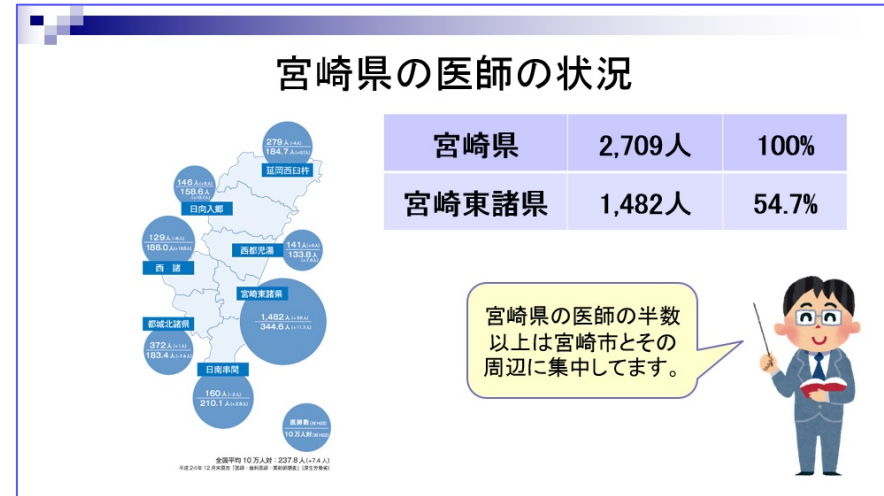
13名のサポート会員誕生

女性医師保育支援講座 「女性医師の現状と地域医療」 今日のおはなし

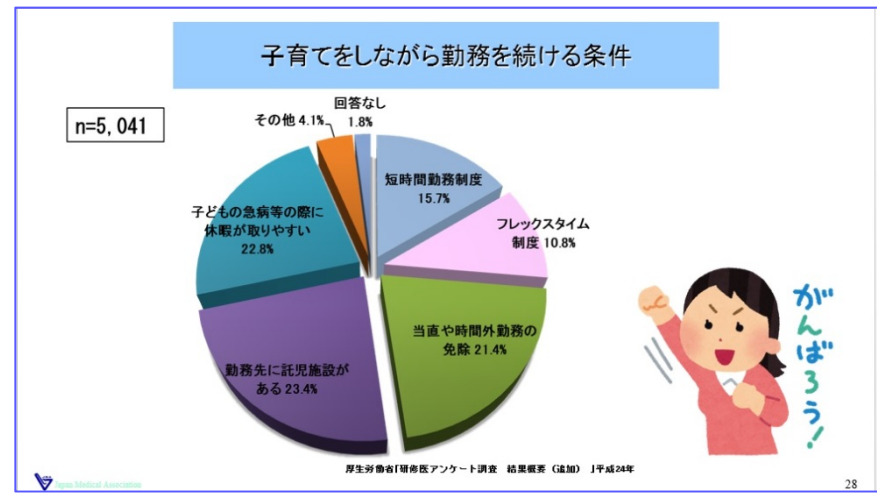
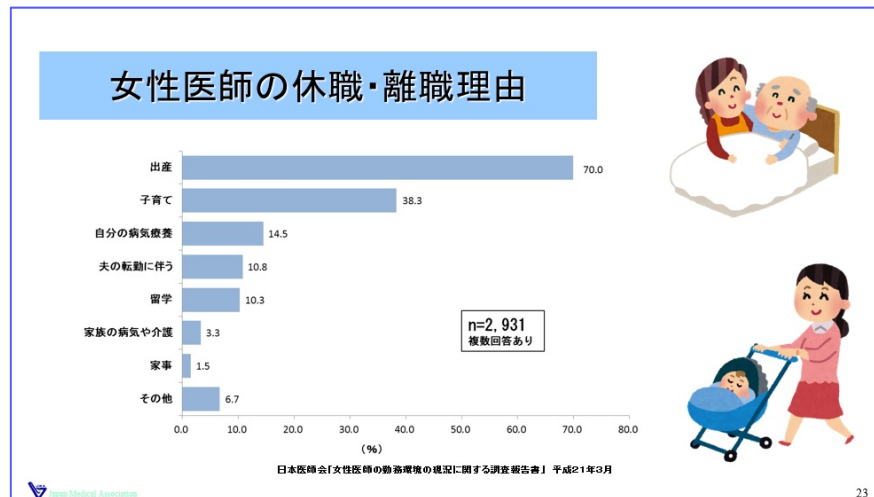
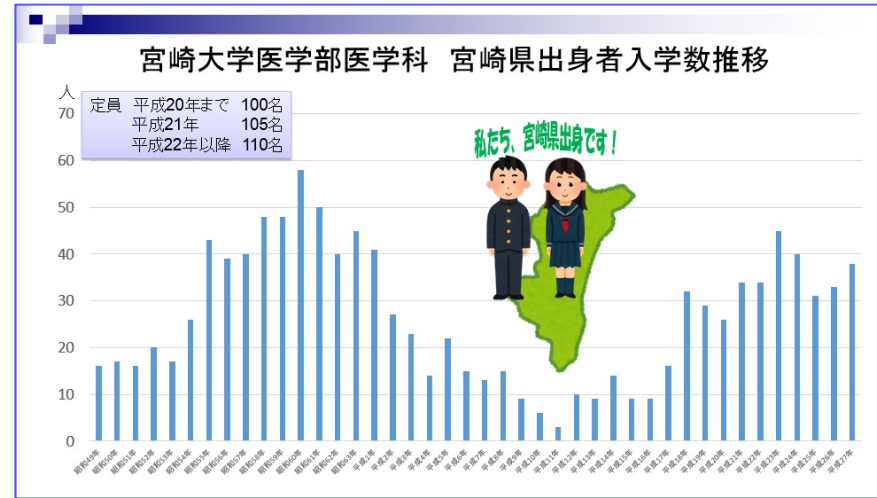
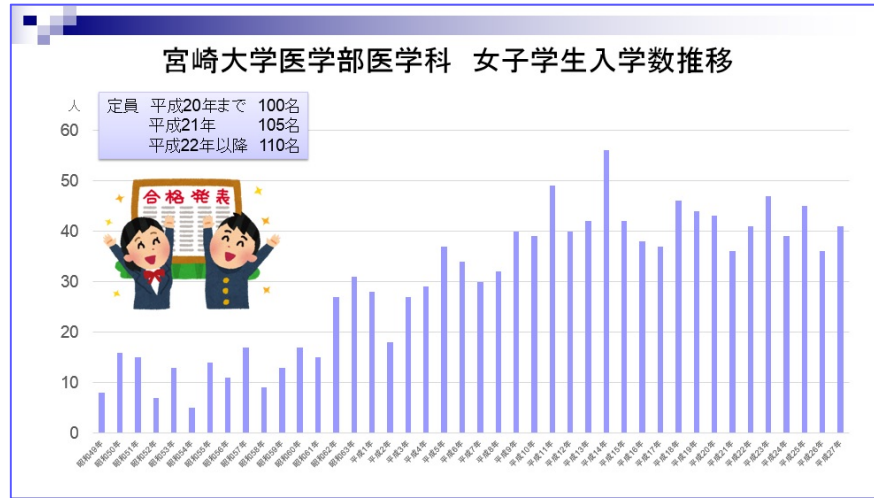
- 医師数
- 日本の医療・宮崎の医療
- 医師の仕事
- 女性医師の現状
- 女性医師への支援
- 地域医療を守るために



女性医師保育支援講座 「女性医師の現状と地域医療」抜粋(1)



女性医師保育支援講座 「女性医師の現状と地域医療」抜粋(2)



女性医師保育支援講座 「女性医師の現状と地域医療」受講者感想

- **女性医師の増加はとてうれしく頼もしく**感じました。
- **診療科によって女性医師の割合が多い**という事について、今まで考えた事ありませんでしたが、講習を受けて関心を持ちました。
- **宮崎の医師の現状や女性医師の厳しい現状が理解でき**本当によかったと思います。子供たちのためだけではなく、若いお母さんたちのため、女性医師の方の存在が大きいと分かりました。休職や離職を考えなくて良い環境が必要だと痛感しました。
- 考えてみると、女性のお医者さんも子育てしていらっしゃるよね。**近くにご両親がいらっしゃらなければ、**子育てしながら、昼も夜も働けませんよね。
- 今回の講座を受講させて頂いて、人命に係るとても大切な仕事をされている女性の医師の割合が少しずつ増えていると知りました。女性医師も家ではお忙しいお母さん...サポート会員が**保育支援をする事で少しでも助かった、良かったと思って頂けたら嬉しい**と思いました。
- **お医者さんには十分お仕事に従事できるような体制作りが必要**と思います。女性の場合は、自分の経験が医療により活かせるのではと思います。
- **私たちがサポートしていくことで地域医療に役立つことができるのなら**少しでも協力していきたいと思いました。

利用会員(女性医師)の募集

■ 利用対象

- 生後6か月から12歳までの子どもがいる女性医師等
- 宮崎市内在住の方 ※平成27年度はモデル事業として実施のため、市内在住者に限定
- 医師会の会員・非会員は不問

■ 案内通知 : 平成27年12月1日

- 宮崎市内の女性医師会員
- 宮崎市内の病院長
- 宮崎大学医学部附属病院の各診療科・医局長

■ 申込期限 : 平成27年12月10日



■ 申込者 : 20名

- 宮崎大学医学部附属病院: 8名
- 市内医療機関(病院: 8名、クリニック: 4名)

平成27年度女性医師保育支援サービスモデル事業 利用会員・サポート会員全体顔合わせ会



とき：平成28年1月16日(土)
ところ：宮崎観光ホテル



サポート会員紹介

参加者	人数
利用会員(女性医師) (申込者は20名)	18名
女性医師の子ども	27名
女性医師の夫	2名
サポート会員	12名
宮崎大学男女共同参画推進室	3名
宮崎県福祉保健部	1名
NPO法人みやざき子ども文化センター	4名
宮崎県医師会役員	3名
宮崎大学医学部医学科5年生	6名
合計	76名

平成27年度女性医師保育支援サービスモデル事業 利用会員・サポート会員全体顔合わせ会



個別詳細打合せ



プレイコーナー

	プログラム
1	事業概要説明
2	サポート会員紹介
3	利用会員・担当サポート会員顔合わせ (個別詳細打合せ)
4	全体顔合わせ (待機シフトサポート会員との顔合わせ)
5	交流会
	・小児医療相談コーナー
	・女性医師キャリア相談コーナー

- ◆ 交流会では、女性医師同士の親睦も
- ◆ 医学科5年生の学生さんたちが大活躍！
 - 受付・案内・子どもたちの遊び相手
 - 何より、自分たちの将来を考えるきっかけに

平成27年度女性医師保育支援サービスモデル事業

■ 利用料金 (女性医師からサポート会員へ)

● 通常のお預かり		1時間あたり	● 宿泊のお預かり	1泊
月～金	7時～19時	600円	17時～翌朝 8時	10,000円
土・日・祝日	7時～19時	700円	● 病後児のお預かり	1時間あたり
早朝	6時～ 7時	800円	月～金 8時～19時	650円
夜間	19時～23時	800円	土 8時～正午	750円

■ 事業費 平成27年度: 70万円(宮崎県医師会 1/2 宮崎県 1/2)

- 利用手引きの作成
- サポート会員養成講座開催
- 顔合わせ会開催
- 会員登録手続き・紹介等事務経費
- サポート会員へのシフト待機料
- サポート会員へのインフルエンザ予防接種補助

利用実績と今後の予定

■ サービス開始後1か月の利用実績（平成28年1月18日～2月16日）

利用会員	利用日	時間帯	利用区分	サポート会員	子ども	理由
A	1月18日(月)	9:20～13:50	通常	待機シフト	1名	通常勤務・学校が振替休日
B	1月29日(金)	12:00～18:00	病気回復期	待機シフト	1名	通常勤務・子どもが欠席
C	1月30日(土)	19:30～25:00	通常	担当	2名	勉強会
C	2月12日(金)	18:00～22:30	通常	担当	2名	勉強会
D	2月13日(土)	13:20～17:20	通常	担当	1名	その他

■ 今後の予定

- 利用状況の分析、待機シフト体制の検証と改善
- 新規サポート会員の養成
- 宮崎市内での利用会員新規募集
- 宮崎市外の地域へのサービス拡大

より利用しやすいサービスを目指していきます